



令和3年2月5日

蒲刈中学校だより

発行：呉市立蒲刈中学校

文責：校長 柿林 浩彦

第32号

蒲刈中学校入学説明会

2月3日（水）本校において蒲刈中学校入学説明会を行い、来年度入学を予定している児童や保護者の皆様に来校していただきました。

この入学説明会は、本校の特色や中学校生活についてご理解いただくとともに、手続きや物品の購入などの準備をしていただくことを目的として行いました。長時間の説明にはなりましたが、中学校生活のイメージはつかめたのではないかと思います。そして、4月から始まる中学校生活に向かって、児童の皆さんには残り2ヶ月の蒲刈小学校での学校生活をしっかり頑張り切って、蒲刈中学校に入学してほしいと願っています。4月7日（水）の入学式を楽しみに待っています。今後も健康に気を付けて頑張ってください。



学校保健委員会

1月29日（金）本校において小中合同で学校保健委員会を開催しました。学校保健委員会は、学校、家庭及び地域が連携し、生徒の健康実態や課題を把握・協議することによって、健康づくりの推進を図ることを目的としています。年1回開催していますが、今回は、吉中 建 内科校医、鎌田一診 歯科校医、竹内ひとみ 学校薬剤師の学校医の先生方に加えて、安芸灘保健出張所、蒲刈保育所、丸山真史 中学校PTA会長、木村幸二郎 小学校PTA会長にご出席いただき、学校職員の計14名の参加となりました。新型コロナウイルス感染症対策のため、文書提案によって短時間の開催としましたが、保健管理や学校環境衛生、食育の側面から生徒の健康について各小中学校から報告・協議を行いました。また、学校医の皆様からは、学校生活の中でなるべく向かい合ったりせず、互い違いになるなど感染症対策をしてくださいとのおアドバイスをいただきました。今後も生徒が健康で、安心して生活できる教育環境を目指して参ります。



蒲刈物産様ありがとうございました

今年も蒲刈物産様から、節分にちなんでおいしい豆をいただきました。生徒と教職員全員分もいただき、本当に感謝申し上げます。今は、新型コロナウイルスのため、明るい話題が少なくなっていますが、この豆によって、鬼やコロナを蹴散らし、良いことにどんどん出会えればと思っています。

節分と言えば、2月3日というイメージがありますが、今年に限っては2月2日が節分になり、これは124年ぶりだそうです。節分は本来「立春、立夏、立秋、立冬の前日」を指し、季節を分ける節の日として設定されていましたが、このうち立春の前日の節分だけが今も残ったと言われています。

季節の変わり目に起きやすい災難や病気などを鬼に見立てて節分の豆まきの文化が始まったのですが、きっと「鬼は外、福は内」のかけ声で豆まきをされたことでしょう。



伝統継承に取り組んでいます

～蒲刈太鼓と下蒲刈太鼓について～

今年度の統合に伴い、蒲刈島と下蒲刈島の伝統文化をどのように継承するについては、昨年度から模索しながら、取組を考えていましたが、新型コロナウイルス感染症対策によって様々な行事が中止となり、蒲刈太鼓と下蒲刈太鼓の学習は延期となっていました。しかし、1・2年生が総合的な学習の時間において学習を開始しました。今まで先輩が創り、引き継いできた蒲刈太鼓と下蒲刈太鼓の過去の映像を見ることによって、まずは自分の島の以外の太鼓を知ることができました。

今後は、できる範囲で太鼓の練習をしたり、それぞれの太鼓の意義やその継承について学習したりしていく予定です。

